

2009年度

科目名	日本語学特講				
担当教員	宇都宮 啓吾				
配当	専攻1			コード	23930
開期	通年	講時	火曜日3限	単位数	4
授業テーマ	古写本研究の現在				
目的と概要	書誌学の発展として、古写本研究を更に詳しく分析していく。その中で、言語研究との関わりについて言及する。				
成績評価法	テストと平常点で総合的に評価します。全講義数の2/3以上の出席が前提です。				
テキスト	日本の美術NO.505「文書・写本の作り方」(藤本孝一 至文堂) 適宜、プリントを配布します。				
参考書	特に指定しません。適宜、紹介します。				
履修に 当たっての 注意・助言					
講義計画					
【前期】					
1 オリエンテーション(講義計画・評価方法の説明)					
2 写本学とは					
3 紙を巡る問題					
4 文書の書き姿①					
5 文書の書き姿②					
6 文書の書き姿③					
7 写本の書き姿①					
8 写本の書き姿②					
9 写本の書き姿③					
10 写本の書き姿④					
11 冊子本の成立①					
12 冊子本の成立②					
13 冊子本の成立③					
14 冊子本の成立④					
15 本講義の総括					
【後期】					
1 オリエンテーション(講義計画・評価方法の説明)					
2 角筆文献を巡る問題①(角筆文献とは)					
3 角筆文献を巡る問題②(角筆文献から分かること)					
4 角筆文献を巡る問題③(角筆文献から分かること)					
5 小括					
6 大般若経を巡る問題①(大般若経とは)					
7 大般若経を巡る問題②(大般若経の諸本)					
8 大般若経を巡る問題③(東明寺蔵『大般若波羅密多経』)					
9 大般若経を巡る問題④(東明寺蔵『大般若波羅密多経』)					
10 小括					
11 義天版を巡る問題①(院政期の教学圏と対外交流史)					
12 義天版を巡る問題②(院政期の教学圏と対外交流史)					
13 義天版を巡る問題③(院政期の教学圏と対外交流史)					
14 小括					
15 本講義の総括					